

「水辺の探検2009」を実施しました

Yamanashi みずネットと甲府河川国道事務所では、去る8月2日（日）に「水辺の探検2009」を実施しました。毎年好評を頂き今年で4年目になります。

「みんなで身近な川や河原の生物を観察しよう」と一般の方々へ呼びかけ、当日は親子を中心に約50名が参加しました。

あいにくの雨のため実際に川に入ることはできませんでしたが、魚類や底生動物などの各分野の専門家である先生方（指導員）の説明を受けながら、事前に指導員の方が笛吹川で採取してきた魚や底生動物などを楽しく観察することができました。

<概要>

日時 平成21年8月2日（日） 9:00～11:00

場所 万力公園（笛吹川） 及び 山梨市民会館

天気 雨

参加者 約50名

指導員 魚 類 : 三井潔（山梨県水産技術センター所長）
魚 類 : 清水誠（やまなし淡水生物研究会、日本野鳥の会甲府支部）
底生動物 : 馬場邦義（Yamanashi みずネット）
底生動物 : 網野貴章（㈱山梨県環境科学検査センター）
昆 虫 : 窪田茂（やまなし淡水生物研究会、日本野鳥の会甲府支部）
植 物 : 小尾勝（山梨植物研究会）

主催 Yamanashi みずネット 代表：風間ふたば（山梨大学大学院教授）
甲府河川国道事務所



<実施内容>

- 9:00 開会
- 9:10 指導員による「魚類」「底生動物」の解説
- 9:30 笛吹川で採取した生き物の観察
- 10:30 指導員による「植物」などの解説
- 10:50 甲府河川国道事務所による「万力林」などの説明
- 11:00 閉会

当日はあいにくの雨のため、実際に川に入って生物の観察をすることができず、終日山梨市民会館内での活動となりました。

まず、指導員による解説を聞いてから、事前に指導員の方が笛吹川で採取してきた魚や底生動物などを観察しました。

特に子どもたちは、魚に直接触れたり、小さな底生動物を実体顕微鏡で観察したりするのに夢中になっていました。

<観察のようす>



指導員による解説

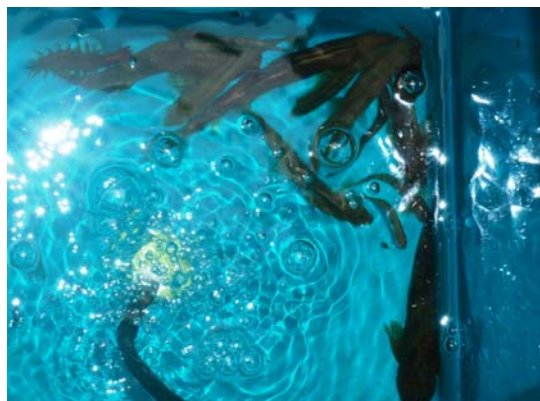


実体顕微鏡や虫メガネで底生動物を観察



魚の観察

<観察された生物>



アブラハヤ・カジカなど



シマドジョウ



ヘビトンボ、カワナなど



ショウリョウバッタ

魚類・・・カワヨシノボリ、アブラハヤ、アユ、カジカ、シマドジョウ 等

底生動物・・・ヘビトンボ、ヒゲナガカワトビゲラ、ウズムシ(プラナリア)、カワナ、サワガニ 等

昆虫類・・・ヤマトシジミ、ルリシジミ、ショウリョウバッタ、ウマオイ、イナゴ、クサキリ 等

植物・・・ヨシ、オオブタクサ、クズ、ハリエンジュ(ニセアカシア)、オニグルミ 等

*水生生物による水質判定結果・・・底生動物では、ヘビトンボが多くウズムシやサワガニが見られたこと、他の指標生物が少ないことから「きれいな水」と判定されます

<当日配布資料及び参考資料>

- ・ [川の生き物を調べよう\(財\)河川環境管理財団](#)
- ・ [水辺の安全ハンドブック\(同上\)](#)
- ・ [ストップ!水難事故\(国土交通省河川局\)](#)
- ・ [富士川で遊ぼう\(甲府河川国道事務所\)](#)
- ・ [34年災害シンポジウム～あれから50年、あの日を忘れない～\(同上\)](#)
- ・ [山梨の魚\(山梨県漁業協同組合連合会\)](#)
- ・ [富士川の植物](#)
- ・ [笛吹川\(万力公園付近\)の河原の石たち](#)